

Silent Voice

# 音なき声

は  
とどいていますか



団体紹介  
パンフレット

「聞こえない」は、  
かわいそう？

#### 昭和の時代

デフと聴者の選択肢の差は今よりもっと顕著だった。  
電話ができず、出前がとれなかった。  
遠くに住むデフの友達とは、手紙でやりとりした。  
映画は、字幕のある洋画しか観れなかった。

#### 令和の現在

テクノロジーの進歩でできることは格段に増えた。  
スマホアプリで簡単に出前がとれる。  
離れた友達ともチャットで話せるし、  
ビデオ通話なら手話で会話することもできる。  
日本の映画にも日本語字幕がついている。  
手段は格段に増えたはずなのになぜ、令和の今も  
デフの子どもは学校で先生が何を言っているか  
〈わからないまま〉なんだろう？  
デフの平均給与は聞こえる人より大幅に  
〈低いまま〉なんだろう？

そして、なぜそこに社会は  
疑問を持たないんだろう？

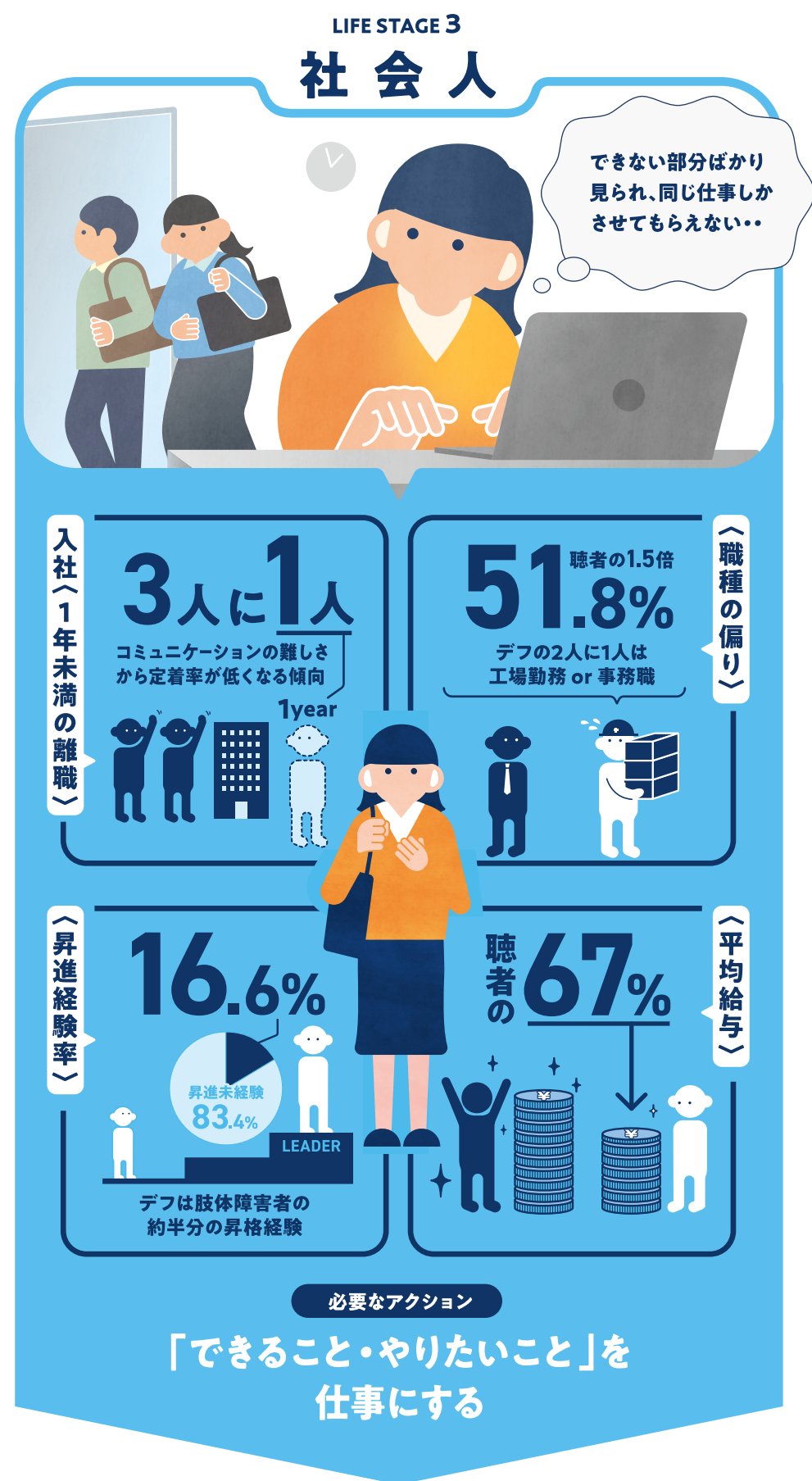
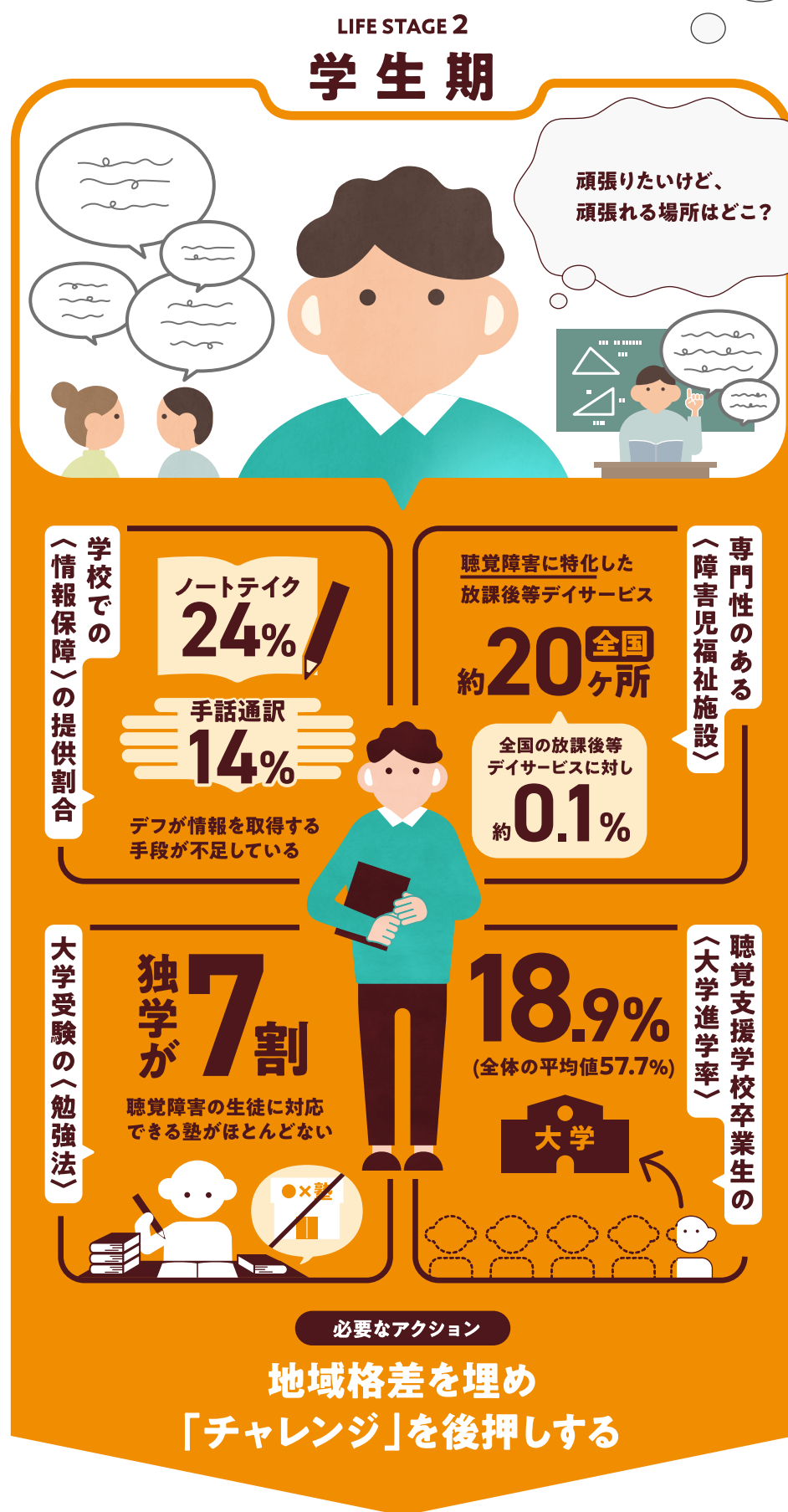
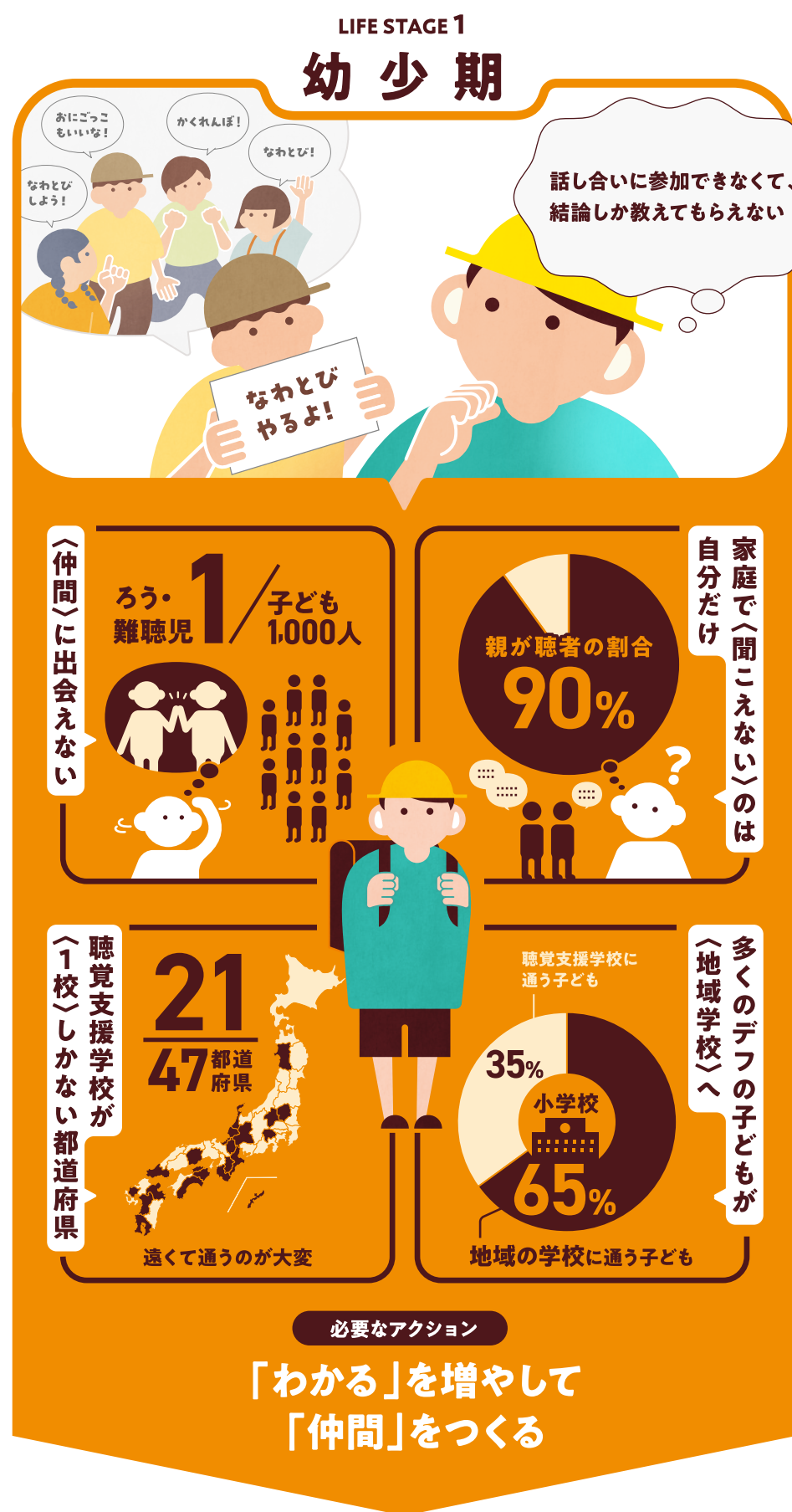
テクノロジーは進んだ。  
次は、人が前に進もう。

そこには「できない」「仕方ない」「かわいそう」  
という古い思い込みがある。  
私たちは、それを変えたい。  
学校や職場、さまざまな場所で  
テクノロジーが使われ  
「聞こえないからできない」の思い込みを取り除けば  
社会の可能性はもっと広がるはず。  
サイレントボイスはデフと聴者の架け橋となり  
「助ける・助けてもらう」の関係性から  
「共にできる」に変えるために活動します。



# デフに起こりやすい“ライフステージごとのつまずき”

## その背景にはさまざまな“社会課題”があります。



## サイレントボイスの アプローチ

デフに特化した支援環境で、仲間とともに成長する！

### 通所型支援(放課後等デイサービス) デフアカデミー

ろう・難聴児に特化した放課後等デイサービスとして2017年に設立。聴覚支援学校や地域学校(難聴学級)の小・中・高校生を対象に、コミュニケーションをサポートしながら遊びを取り入れた集団授業やイベントを実施し、居場所と成長の場の提供を行っています。



年間延べ利用者数 845人

年間実施数 350回

※2025年1月時点

#### 関連プロジェクト

#### デフの児童/生徒のためのサポートツール「聞こえの説明書」

学校など様々な場面で、コミュニケーションの取り方や助けてほしいことなどを自分で説明できるよう、「聞こえの説明書」を自分で作れるテンプレートを提供。

「聞こえの説明書」はこちらからダウンロード



一緒に相談しながら  
納得のいく答えにたどり着けた！



質問や思いを伝えられるようになってきた！

これまで家ででの会話が、質問に対して「うん」「ううん」だけだった。それが、どういことをどんな理由でやったか。その時どう思ったかなどを自分から話してくれるようになってきた。  
(小学校4年生 平尾陸人さんの保護者)



どこにいても自分に合った先生から学べる！

### オンライン型支援 サークルオー

全国の小・中・高校生のろう・難聴児へ向けたオンライン対話学習サービスとして2020年に本格始動。ろう・難聴児に合わせたコミュニケーションができる先生のもと、ことは学習や教科学習、興味関心を広げる集団学習を通して、小さな成功体験や新しい世界を拓くきっかけを提供しています。



延べ利用者数 143人

実施したオンライン授業数 6,033回

※2025年1月時点

#### 関連プロジェクト

#### オンライン支援制度化プロジェクト

2023年度こども家庭庁「NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業」採択。2024年度にはオンライン支援制度化へ向けたクラウドファンディングを実施し1,156万円を資金調達。2027年度の制度改定に向けて政策提言を進めている。



こども家庭庁 支援局障害児支援課の課長一行が視察訪問

自分に合った  
学び方を見つけた！



いろんなことにチャレンジするようになった

娘は、サークルオーを始めてから、いろんなことにチャレンジするようになりました。耳の聞こえない、聞こえにくい子たちや大人のつながりができたのも、大きな魅力の一つです。  
(中学校1年生 鈴木萌愛さんの保護者)



相互理解のきっかけがあれば可能性は広がる！

### 企業向けコンサルティング デフビズ

デフを雇用している企業が対象のコンサルティングサービス。聞こえる・聞こえないの違いを相互理解する研修、職場改革へ向けた実践計画の伴走支援を提供。デフと聴者が共に働いているSilent Voiceならではの解説と手法で、職場に新しい活躍を創り出します。



導入企業数 28件

マニュアルダウンロード数 478件

※2025年1月時点

#### 関連プロジェクト

#### デフと聴者がともに働く「職場改善マニュアル」

デフと聴者が共に働いている自社で発見した方法を中心に、デフと聴者が対等に活躍を目指すための方法をノウハウとしてまとめた冊子を配布。

マニュアルはこちらからダウンロード



職場での歩み寄りが増え  
次のチャレンジが見えてきた！



AISIN 株式会社アイシン

これまで100名以上のデフ社員が、上司と共に研修を受けました。参加者から「職場からの一方的支援ではなく、相互理解や双方の工夫の必要性を学ぶことができた。」など、気づきの声を頂きました。この研修により、日頃のコミュニケーションの改善や、デフに対する業務拡大、さらに定着に繋がっています。





# すべてのデフの人々が、 自分らしい人生を選べる社会に

“聴覚障害者”にとって、地域に同じ境遇の人がいないことや、習い事などの機会に配慮がなく通えないことは珍しくなく、「聞こえないから仕方がない」と諦めるしかありませんでした。

今の時代も同じであるべきでしょうか。私たちは全くそう思いません。

新しい取り組みによって、デフの生活は大きく変わります。その変化は本人だけにとどまらず、家族や友達、職場の同僚、さらには社会全体のデフと聴者の共存を変えようと考えています。その一歩として、孤立を防ぎ、オンライン支援によって人と人がつながることが重要です。企業もサービスを作らず、支援制度もまだないこの領域に、私たちは寄付を託していただきモデル事業を作っています。活動を深め広げ続けるために、月額寄付サポーターという形で支えてください。



## 月額寄付サポーター入会 ご寄付のお申込みはこちら



こちらのページから月額寄付サポーターへのお申し込みやご寄付を受け付けております。フォームに必要事項をご入力の上、お手続きをお願いいたします。お支払い方法はクレジットカードです。

お振込みをご希望の場合はお問い合わせください

## ご寄付・助成をいただいた皆様(順不同)

parks



TokyoDev

TRIPLE éf



わく歯科医院

ZENRIN  
DataCom



滋賀大学



micomaru



O-KUN



FoRest

M  
村上財団  
The Murakami Family Foundation



株式会社 ふくしごと

POPCORN  
PAPA



みてね基金



一般財団法人  
りせら財団

NOEVIR  
GREEN FOUNDATION



GLOBAL FLAT

サナエ精工株式会社



一般財団法人  
レオ財団



株式会社 粹

Save the Children  
セーブ・ザ・チルドレン

Supported by  
READYFOR  
READYFORの社会事業のサポートを  
受けて活動しています

Level Enter inc.

思い上がり  
社会を支える  
みんなの力  
社会福祉法人 社会福祉協議会

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON FOUNDATION

BlackRock

一般財団法人 日本児童教育振興財団

## 活動計算書を公開しています

サイレントボイスはNPO法人会計基準に則って会計処理・情報公開を行い、「内閣府NPOホームページ」に公示されています。

